

## PM資料ガイド

項目	Project Management Specialist プロジェクトマネジメント・スペシャリスト PMS ( Project Management Specialist )	Rev.	年月日	作成
		0	030331	挾間啓之
対象	一般			
視点	基本解説			

Project Management Specialist : プロジェクトマネジメント・スペシャリスト ( PMS )

PMS という略称は多くの分野で使用されている。例えば、JPMF が専門としているプロジェクトマネジメント分野においても、Project Management System、Project Management Software、Performance Management System、Project Management Specialist で PMS という略称が使われている。ここでは Project Management Specialist について説明する。

1. プロジェクトマネジメント・スペシャリスト ( PMS )  
プロジェクトマネジャーやプロジェクトリーダーの用語は一般的であるが、プロジェクトマネジメント・スペシャリストの用語はまだ一般的ではない。紀伊国屋が発行しているプロジェクト雑誌でもこの言葉に焦点をあてた文献は見つけることが出来なかった。単純に翻訳するとプロジェクトマネジメントの専門家ということになる。何故この言葉のガイドを作成したかということ、日本発のプロジェクトマネジメント資格でこの言葉が採用され、今後は一般的な表現として使われる可能性が高いと思われるからである。
2. プロジェクトマネジメント・スペシャリストの用語はプロジェクト&プログラムマネジメント標準ガイドブック“P2M” ( 以下 P2M と略す。詳細は末尾の参考文献の項を参照 ) で記載されている。従って、ここでの用語解説は P2M をベースとする。  
P2M ではこの専門家の役割を概略以下のように定義している。
  - 1 ) プロジェクトマネジメントの専門家は例として「企業が販売情報システムを必要とする場合に、経営者に投資金額、期待効果、期限を確認し、その要求事項に対して販売部門には注文のリピー率の向上や受注増加を検討させ、情報部門にはシステムを吟味させる。つまり経営者の意図を読み取って、何故販売情報システムを作るのか? という使命や目的・目標を明確にし、企画、情報、販売の専門家を束ねて複合的課題を解決する。このような専門能力を提供する新しいタイプの職業人である」
  - 2 ) P2M ではこの職業人 ( プロジェクトマネジメントの専門家 ) に関して高い期待度を表明している。
    - ・職業人は、高度の専門サービスを提供し、「即効性」によって価値創造に貢献する。

- ・職業人は、複合問題の解決に力点を置き、「有効性」を発揮する。
- ・職業人は、広い範囲で利害を調整し、「受容性」を向上する価値活動を行う。

また同じような表現であるが、以下のような定義もしている。

- ・職業人は、部分的な問題ではなく、複合問題の解決により満足度を提供する専門家
- ・職業人は、曖昧で深い意味を持つ要求を具体的なテーマとして明確化し、価値創造に結実させる専門家
- ・職業人は、複合問題を関係性の問題としてとらえる専門家
- ・職業人は、複雑で不確実な関係を取り扱う専門家

- 3) これを私なりに理解すると、プロジェクトマネジメント・スペシャリストとはプロジェクトマネジメントを専門分野とし、「高い視点、広い視野、柔軟なバランス感覚を備え、体系的知識、実践経験をもった人材で使命達成型の職業人」ということになる。

## 2. プロジェクトマネジメント・スペシャリスト資格

プロジェクトマネジメントを専門分野とする職業人には、知識、実務経験、姿勢から形成された実践力が不可欠であり、さらには社会的責任、熱意、倫理、姿勢が問われる。この能力判定方法として“プロジェクトマネジメント資格認定センター”が設立され資格認定を行うようになった。資格認定では3段階を設け、プロジェクトマネジメント・スペシャリストの資格はその第一ステップとして位置付けられている。以下その概要を示す。

### 1) プロジェクトマネジメント・スペシャリスト (PMS)

P2M に準拠した知識 (Acquired knowledge Level) の基礎レベル習得者に与える認定で学歴や実務経験を問わず、筆記試験により判定を行う。取得後は5年の更新となる。PMS の資格付与により、教育の普及と実践力の習得が可能になる。

### 2) プロジェクトマネジャー (PMR)

PMS を取得し、プロジェクトマネジメントの実務経験を有している人を対象に筆記試験と面接試験を行い、高度の実践力 (Practical Capability Level) があると認められた人に与えられる認定。取得後は5年の更新となる。

PMR の資格付与により、プロジェクトマネジャーの社会的認知と雇用機会が増大する。

### 3) プログラムマネジメント・アーキテクト (PMA)

PMR を取得し、プログラムマネジメントの実務経験を有している人を対象に論文試験と面接試験を行い、複雑な複数のプロジェクトを統合管理するプログラムマネジメント能力または使命達成型のプロジェクト創造や開発志向能力があると認められた人に与えられる認定。取得後は5年の更新となる。

PMA の資格付与により、プロジェクト型事業の創造による再生、変革機会が増大する。

#### 参考文献

「P2M プロジェクト&プログラムマネジメント標準ガイドブック」

著者：プロジェクトマネジメント導入開発調査委員会

発行者：財団法人 エンジニアリング振興協会

発行日：2001年11月15日